

県議会 開会！新年度予算を審議

福岡県議会議員
【古賀市】



地元の声を踏まえ、一般質問の場などで知事に政策提案を続けている＝昨年12月議会

2月定例会

連続8回目の知事質問へ

福岡県議会の2月定例会が2月26日、開会。3月未までの期間中、2013年度の県政運営全体を決める当初予算案を審議します。私は県議就任以来、全ての議会で小川洋知事らに対する「一般質問」で

田辺かずき 県政報告

古賀発！ただいま
県政刷新中！

～特別号～

2013年2月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■ 予算審議の注目点

登壇し、政策提案を続けており、今回も8回連続8回目の質問を予定しています。県議会は傍聴でき、インターネットによる生中継も実施しており、多くの皆さんに注目していただきたく思います。

県議会の定例会は年4回開催。2月、6月、9月、12月の定例会のうち、2月は次年度の当初予算案を審議する極めて重要な議論が展開されます。予算案を重点審議する「予算特別委員会」も年1回この定例会で設置され、私はこちらにも3年連続でメンバーに選出される見込みです。県議会は何をしていくかわからない。県議就任前から耳にしていた古賀の住民の皆さんの「声」を踏まえ、この2年間、「対話集会」の市内全域の公民館での開催やブログの連日更新、県政報告書のこまめな発行に取り組んで、

◎質疑が見られる
福岡県議会のホームページはこちら
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>



きました。それでも全ての皆さんに伝えきれない。そこで今回は議会開会に合わせ、この県政報告書を特別号として発行し、ポイントをとめました。防災、子育て・教育、社会福祉、経済・雇用、農林漁業、貧困・格差、環境、インフラ整備、治安、地域主権（地方分権）、国際交流…。県議会では多岐にわたるテーマで議論を展開しています。その根っこは住民の皆さんのご意見・ご要望。今後もぜひとも「声」をいただきます。く思います。

田辺の政治活動を連日発信しています！

田辺かずき で 検索

- ブログ(政治活動日記) <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
- 公式ホームページ <http://www.tanabe-kazuki.jp/>
- facebook <http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
- Twitter アカウント → @tanabe_kazuki

裏面へつづきます▽

政策提案へ—新年度予算の議論のポイント

【裏面】
福岡県議会議員
田辺かずき
県政報告

私はこれまでの県議会における質問で、常に住民の皆さんからいただいた「声」を踏まえた政策提案を意識してきました。質問は知事に「現場感覚」を伝える絶好の機会です。いづれの質問も次年度の政策展開、つまり予算案への反映を求めたものでした。2013年度当初予算案を審議するに当たり、私の主な視点をまとめました。

【防災】

高齢者や障がい者の皆さんら災害時要援護者対策の充実。私は昨年12月議会で知事に対し、古賀市における住民の皆さんの取り組みを踏まえ、地域の中での支援体制を強化するための事業強化を求めました。知事は実現に向けた強い意欲を表明しています。
また、災害に強い県土を目指し、道路や橋梁などの長寿命化対策も求めています。

【子育て・教育】

古賀市では2012年度、待機児童解消を目指す県事業の補助を活用し、3つの保育所の増改築が決まりました。こうした取り組みに加え、共働き家庭の支援策など女性の就労促進を意識した政策の展開はどうか。私が提起してきた家庭や地域の教育力向上支援、ネット依存対策も注目点です。

【農林漁業、経済】

農商工連携は古賀の大きなキーワード。農業の6次産業化推進では古賀にとっても有意義な県事業が展開され、これらの強化が期待されます。また、県内の雇用を支える中小企業の金融支援、海外展開や販路開拓のサポートも強く求めてきました。「環境」を軸としたグリーンアジア国際戦略総合特区の推進も重要です。



防災
福祉・環境
子育て・教育
農林漁業
経済
分権
改革

【福祉・環境】

貧困・格差対策で力を入れるべきは生活困窮世帯の子どもに対する学習支援です。「貧困の連鎖」を絶つために取り組みを強化するよう、昨年9月議会で提起しています。私が1年目から取り組んでいる地域の中における高齢者の医療・介護体制の構築、廃棄物対策の促進も求められます。

【分権改革】

地方の自立を目指し、国と地方の協議の場の法制化、ひも付き補助金の一括交付金（地域自主戦略交付金）化などの地域主権改革が進められてきましたが、なおいっそう地方から国に働き掛けていく必要があります。国の出先機関改革をはじめとする諸改革を、引き続き知事とともにしっかりと国に求め、九州広域行政機構の実現に取り組みます。

政治活動を連日ご報告しています！

- ブログ <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
- 公式HP <http://www.tanabe-kazuki.jp/>
- facebook <http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
- Twitter アカウント→ @tanabe_kazuki

<田辺かずきプロフィール>



1980年5月16日生まれ
1987年／暁の星幼稚園 卒園
1993年／花鶴小学校 卒業
1996年／古賀中学校 卒業
1999年／福岡県立福岡高校 卒業
2003年／慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社／福井支局 配属
原発事故や災害弱者、日本人拉致問題などを取材
2006年／大阪本社社会部 配属
橋下徹・大阪府知事(当時)、大阪府警、甲子園、福祉問題、地域活性化、国際紛争などに取り組む
2011年／福岡県議会議員 初当選

【所属】 厚生労働環境委員会、国際交流推進対策調査特別委員会
民主党・県政クラブ政策審議会企画委員

【家族】 会社員の妻、5歳の長男、2歳の長女

“田辺かずき事務所からのお知らせ”

◇対話集会を開催

私の県議会活動は地元の皆さんの「声」があつてこそ。市内全域の公民館で対話集会を開催していますが、このほかにご連絡をいただければ、地域やご近所の皆さんとの集まり、サークル活動などでも県政報告と意見交換をさせていただきます。事務所(092-692-8510)まで。



◇県政報告書の発送

ブログによる連日の情報発信に加え、紙ベースの県政報告書で活動をお伝えしています。2か月に1回のペースで発行しており、ご連絡いただいた方には郵送させていただきます。県政活動の意義と詳細を記していますので、ご希望の方は事務所(092-692-8510)まで。